

# 令和6年度「ふくい高校生県議会」参加者募集要項

## 1 目 的

次世代を担う高校生が、県議会や議員の役割について理解を深めるとともに、議会審議等の体験を通じて、地域社会の課題を自分ごととしてとらえ、解決に向けて主体的に行動する「主権者意識」の醸成を図ることを目的としています。

## 2 主 催

福井県議会、福井県、福井県教育委員会

## 3 日 時

令和6年8月9日（金） 13時～16時（予定）

## 4 場 所

福井県議会議事堂（福井市大手3丁目17-1）

## 5 募集対象

県内の高等学校およびそれに準ずる学校に通う生徒4名程度で構成するチーム

- ・チームは学校単位とし、学年は問いません。
- ・募集チーム数は、原則として4チームとします。
- ・応募多数の場合は、過去の参加状況等を考慮した上で決定させていただきます。

## 6 実施内容

○概要説明

○模擬委員会

4つの委員会室に分かれ、高校生が委員（議員）となり、県政テーマについて担当部局と意見交換を行った後、提言書を作成します。

○提言書の発表

本会議場において提言書の発表を行います。

## 7 応募期限

令和6年5月31日（金）

## 8 応募方法

各学校において参加希望者を取りまとめ、「ふくい高校生県議会参加申込書」(別紙)に必要事項を記入の上、福井県議会議会局まで、郵送または電子メールにより提出してください。

## 9 その他

- (1) 参加が決定しましたら、県議会議会局職員が具体的な実施方法について説明に伺います。
- (2) (1)の後、当日までに、各チーム担当議員が、意見交換の進行や提言書作成のアドバイスをを行います。
- (3) 当日は旅費を支給します。
- (4) 報道機関が、事前の打ち合わせや当日の様子を、取材、撮影する場合があります。また、事前の打ち合わせや当日の写真、動画、記録については、県のホームページおよびSNS等で公開するほか、県議会のテレビ広報番組で放送する場合があります。
- (5) 個人名や学年等を記載した参加者名簿等を当日取材する報道機関にも配布します。また、後日県のホームページで公開する記録等にも掲載します。
- (6) 各参加校の模擬委員会の様子は、当日、それぞれの学校においてオンラインによる視聴を可能とする予定です。(詳細については、参加チーム決定後、別途お知らせします。)
- (7) 参加後、活動報告会の開催や授業での発表、広報誌への掲載等、校内で行った取組みを報告していただきます。

※ (4)、(5)については、個人情報に関わることですので、応募の際には、参加予定の生徒にその旨確認し、了解を得た上で応募してください。

## 10 問い合わせ、提出先

福井県議会議会局 議事調査課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

電話：0776-20-0610

電子メール：[gijicho@pref.fukui.lg.jp](mailto:gijicho@pref.fukui.lg.jp)

## 令和6年度「ふくい高校生県議会」参加申込書

	ふりがな 参加生徒氏名	学年 (年齢(8月9日現在))
1		年 ( 歳)
2		年 ( 歳)
3		年 ( 歳)
4		年 ( 歳)

ふりがな 担当(引率)者氏名	
-------------------	--

希望する県政テーマを参考「ふくい高校生県議会 検討テーマ一覧」から選んでご記入ください(テーマの重複等により、調整させていただく場合がございますのでご了承ください)。

第1希望
第2希望

当日引率していただく方と、連絡の窓口となっていていただく方が異なる場合は、下欄にご記入ください。

ふりがな 窓口となる方の氏名	
-------------------	--

## 【連絡先】

電話番号	
FAX番号	
Eメールアドレス	

※いただいた情報は、ふくい高校生県議会以外には使用しません。

上記のとおり、ふくい高校生県議会に参加を申し込みます。

令和 年 月 日

学 校 名 \_\_\_\_\_

学校長氏名 \_\_\_\_\_

## 令和5年度参加者の提言に対する事業等への反映について

### 1. クリアランス資源の活用について

(高校生からの提言等)

高校生が「ものづくり」の素材としてクリアランス資源(※)を使う機会をつくってはどうか。

(※) 原子力発電所から出るゴミのうち、安全であり、再利用が可能である資源



(事業等への反映)

クリアランス金属再利用製品の企画・制作・設置に関して議論する場において、従来の地域住民を中心としたステークホルダーグループに加えて、「クリアランス金属の再利用活動や原子力を学んでいる県内学生」を対象とした学生ステークホルダーグループを結成することとした。

### 2. 行政文書の書き方について

(高校生からの提言等)

外国人にも理解しやすいように、行政文書を分かりやすい単語に置き換えたり、イラスト等を入れてはどうか。



(事業等への反映)

県庁職員向けに「やさしい日本語を使った公文書作成」をテーマとした研修を新たに実施することとした。

### 3. バスの乗り継ぎの利便性について

(高校生からの提言等)

保護者の送迎に頼らず、円滑に通学できるようバスの乗り継ぎを考慮したダイヤの策定をしてはどうか。



(事業等への反映)

令和6年2月から交通系ICカードをバスにも導入し、乗り継ぎ時の費用軽減や利便性向上につなげている。